

《第2回 医用原子力技術研究振興財団 講演会》

原子力(放射線)利用技術の 医療への貢献

—そこまで来た次世代がん診断・治療法—



日時/平成17年12月9日(金)

午後1時~午後4時30分

場所/名古屋大学 豊田講堂

(駐車場は用意しておりません。)

入場料/無料

(募集定員1,300人。但し事前登録の上、参加券が必要です。)

●お申し込み(事前登録)は
FAX:03-3504-1390
E-mail:nagoya2@antm.or.jp
氏名、住所、所属、電話番号をご連絡下さい。
締め切り日:平成17年11月18日(金)
※ただし、定員になり次第、締め切らせていただきます。

●お問合せは
(財)医用原子力技術研究振興財団 総務部
電話:03-3504-3961
<http://www.antm.or.jp/>

■プログラム(13:00~16:30)

開会挨拶
森 亘 (財)医用原子力技術研究振興財団 理事長

■第1部

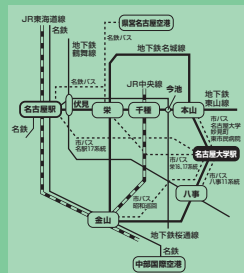
座長
井上 俊彦 大阪大学名誉教授
●がんの診断と治療を革新する新しい画像診断
—PETを中心とする最新のがん診断—
伊藤 健吾 国立長寿医療センター 長寿脳科学研究部長

■第2部

座長
森田 皓三 愛知県がんセンター名誉病院長
●重粒子線がん治療の10年
溝江 純悦 (独)放射線医学総合研究所重粒子医学センター病院長
●私の重粒子線がん治療体験(前立腺がん)
梶原 拓 前全国知事会会長 前岐阜県知事
●私の重粒子線がん治療体験(骨肉腫・背骨)
●私の重粒子線がん治療体験(肝細胞がん)

■第3部

座長
平尾 泰男 (財)医用原子力技術研究振興財団 常務理事
●最先端放射線治療装置の現状について
—重粒子線照射法及び中性子捕捉療法—
曾我 文彦 (財)医用原子力技術研究振興財団 主席研究員
●重粒子線がん治療施設設計画(中部地区の取り組み)
石垣 武男 名古屋大学医学部放射線科 教授
閉会の辞
平尾 泰男 (財)医用原子力技術研究振興財団 常務理事



■主催/(財)医用原子力技術研究振興財団

■共催/名古屋大学 医学部 放射線科 (株)名古屋先進量子医療研究所

■後援/文部科学省 厚生労働省 名古屋大学 原子力委員会 (独)日本原子力研究開発機構 国立がんセンター (独)放射線医学総合研究所 (社)日本原子力産業会議 (社)日本アイントープ協会 愛知県 愛知県がんセンター 名古屋市 愛知県医師会 名古屋市医師会 中部電力(株) (社)中部原子力懇談会